なでしこ 第11号

H23（2011）.7.30 発行
沖館川をきれいにする会
事務局　781―0862

会報「なでしこ」はH22.2.15.第１号から名付けられました。 女子サッカー世界一の「なでしこ」ジャパンと同名です。

「海の日」にＥＭ活性液投入で川を浄化

「海の日の７月 18 日、全国一斉（約 250 ヶ所）にＥＭで海・川を浄化しよう」運動に呼応し、当会でも昨年に引き続き実施しました。　好天に恵まれた 18 日午前 10；00 相野橋歩道上に、加川会長ほか斎藤、藤田両顧問はじめ流域町会長や会員・考える会員等 20 名が参集し幟旗をたてて、里村ＥＭインストラクター（当会顧問）のアドバイスでＥＭ活性液 400ℓ（10ℓポリ缶 40 ヶ）を沖館川へ一斉に放流、壮観でした。

なお、今回 EM だんごは東北大震災の被災地へ全て供用されて品切れのため、投入できなかったことは大変残念でした。

加川会長から挨拶 ←

幟旗をなびかせて ←

ヨーイドンで一斉に EM 液を放流　↑

会長・役員が沖館中・同小学校長を表敬訪問

当会は平成 14 年発足以来、子育て支援事業推進の一環として、沖館中学校・同小学校の生徒・児童達と共に沖館川をよりきれいにして親しむことを希って来ました。　このため加川会長・役員が７月 14 日に沖中桜庭寿一校長を、また７月 25 日には沖小小形範雄校長を表敬訪問し、相互の連携活動強化等について話合いをしました。　かつて沖中全校生徒会は当会と合同クリーン作戦活動を展開し、一方沖小では毎年 4 年生全員が、沖館川の実地観察やＥＭ活性液の作成・投入作戦等を継続実施中であることなど、今後とも両校とは一層の協力活動が大切であることを確認しました。

過去の全国災害発生で土砂災害が増加激甚化

3/１１発生の東日本大震災の禍根消えやらず、7/30 現在、犠牲者は 12 都道県で死者 15.648 人、行方不明者６県で 4.979 人（警察庁まとめ）にのぼっており、胸が痛みます。

去る７月４日、県土整備部河川砂防課へ川浄化の要望時に提供された資料によると、全国の

災害発生件数は　H54～63 平均　818 件
　　H元～10 平均　942 件
　　H11～20 平均 1.051 件

また、降雨 50（ｍｍ/ｈ）以上の発生回数（1.000 地点あたり）は　H54～63 平均　169 回
　　H元～10 平均　184 回
　　H11～20 平均　231 回

で、過去 30 年間は 10 年ごとに土砂災害も増加・激甚化の傾向にあり、極めて憂慮される状況にあるとのことでした。　私達としては平素から**備えの心構え**が一番大事だと思います。